

むらおか

村岡 ふるさとガイド

おおぬか
大糠

てらかわうち
寺河内

かかやま
耀山

こうよう
光陽

たかい
高井

いちばら
市原



むらおか ガイドマップ

大字村岡

東上・東中・本町・野々上・殿町
水上・川上・中西・新町・西本町

(県) 銚子ヶ谷カキツバタ群落



おんたきじんじゃ
御滝神社 卍



水上の棚田

みなかみ
水上

水上の棚田

かいていめん りゅうこん
(県) 海底面の流痕

ふ どうそん
お不動尊

やましんじゃ
山神社 卍



山名家廟所 壺溪御廟

お地藏さん

村岡こぶし園

むらおかはんしゅやまな け ぼしよ
(町) 村岡藩主山名家墓所

つぼたに ごひょう
壺溪御廟

さくらやま ごひょう
桜山御廟

ごてんやまこうえん
御殿山公園

むらおかしん やあと
(村岡陣屋跡)

ごてんやまいなり
御殿山稲荷・モミの木

オオモミジの木



大運寺

大日堂跡

くろの じんじゃ
黒野神社 卍

(県) 黒野神社本殿

(町) 皇大神社

ムクロジの大木

かわかみ
川上

こうれいじんじゃ
荒霊神社 卍

観音山墓地

香美町村岡地域局



大師堂 (新町)

平田 田んぼ

うしいち ばあと
牛市場跡

こんじょうし
厳浄寺

薬師堂

石地藏尊

とのまち
殿町

松田家
住宅

村岡民族資料館
まほろば

池田家住宅

ほんまち
本町

ほうらんし
法雲寺

山名蔵

ほつらんし
子守り地藏尊

のうえ
野々上

ひがしなか
東中

大運寺・妙見堂 (番神堂)

いちよう たいぼく
銀杏の大木

ひがしなか
東上

村岡中学校

村岡小学校・幼稚園

たいしどう
大師堂・お地藏さん

しんまち
新町

にしほんまち
西本町

だいこくしゃ おおやしろ
大黒社 (大社) 卍

村岡中学校

村岡小学校・幼稚園

村岡高校

さるがしま
猿ヶ島

化石の産地

(国) 国指定重要文化財 (県) 県指定重要文化財 (町) 町指定文化財

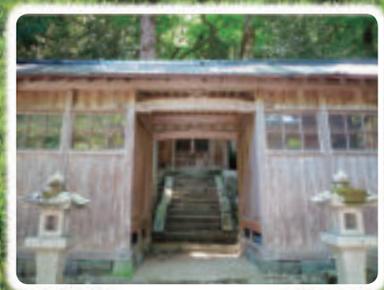


厳浄寺

むらおか
ガイドマップ
 用野・鹿田



八坂神社(用野)



二柱神社

やさか
 八坂神社・銀杏の大木
 トチの木の切株
八

よしの
 用野

お地蔵さん

ちや
 茶屋跡

ふどうそん
 お不動尊

にゃくいちおうしんじや
 若一王神社跡

村岡温泉

八
 ふたはしらしんじや
 二柱神社
 観音堂
 お地蔵さん

こりんとう
 五輪塔

しかだ
 鹿田

しかだ
 鹿田古墳
 いしかま
 (石釜古墳)

赤岩



鹿田古墳



鹿田古墳石室

入江ダム

村岡トンネル

むらおか ガイドマップ

相田・神坂・萩山・板仕野



八幡神社(萩山)



郡主神社



上の神古墳(板仕野)



瀬川稲荷神社



一二峠御廟

むらおかはんしゅやま なけ ほしよ
(町)村岡藩主山名家墓所
ほいとうげこびょうぜんこう
一二峠御廟・禅高さん

瀬川溪谷 憩いの森 休憩棟
とろかわいなりじんじや
瀬川稲荷神社・巨石群 卍

とろかわいこく
瀬川溪谷
大滝・双身の滝
もっと奥
十三佛・六体地蔵

むらおか ガイドマップ

大糠・光陽・高井・寺河内・耀山・市原

放牧場
カシワ林
八ヤシドリシジミ生息地
カツラの木の群生



ふくにしじょうし
福西城址
(今の村岡高校の所にありました)



善性寺



等余神社



村岡には屋根の端にカベを立ててその上に小さな屋根をのせている家があります。「うだつ」と呼ばれるもので、火事の時に燃え広がることを防ぐためだったと言われています。

山名のお殿様

山名家は室町時代に全国66の国のうち11国も所領しており「六分一殿(ろくぶんのいちどの)」と呼ばれるほど勢力があった家系でした。

戦国時代には但馬山名家と因幡山名家に分かれていましたが、豊臣秀吉の但馬・因幡攻めによって但馬山名家は敗走、因幡山名家の当主であった山名豊国は降伏しました。

山名豊国は1600年の関ヶ原の戦いで徳川家康側につき、1601年に徳川家康から七美五郷(ほぼ現在の香美町村岡区小代区の範囲)の領地が与えられました。

山名豊国、その子豊政の代では、村岡区福岡に陣屋をおいて代官に支配させていましたが、三代目の矩豊の代に、当時黒野村とよばれていたところに陣屋をおいて村岡と名前を変えました。この時に交代寄合となり江戸と村岡を行き来しながら支配することとなりました。

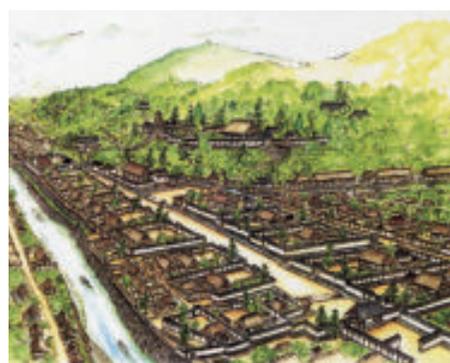
1806年、八代目の義方の時、陣屋を今の御殿山公園に移し城下町を整備しました。

1868年、十一代目義済の時に石高が6700石から11000石となり村岡藩となりました。

1871年、十二代目義路は藩知事となりましたが、廃藩置県により、村岡藩から村岡県、新豊岡県、そして1876年に兵庫県に統合されました。



村岡陣屋絵図



村岡城下町復元図

○法雲寺(村岡)

東林山法雲寺は、1350年ごろに創建され、戦国時代には「報恩寺」と呼ばれていました。三代目矩豊が陣屋を福岡から村岡に移した時に、名前を「東林山法雲寺」に改めて山名家の総菩提寺として決めました。

法雲寺には山名家ゆかりの品が多くあり、境内の山名蔵に収められています。



法雲寺

○黒野神社(村岡)

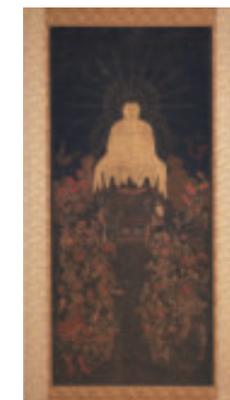
黒野神社は927年に書かれた延喜式神名帳にもでてくる由緒ある神社です。もともとは今の場所の後ろにある山の山頂にありましたが、1437年に志都美上下神社を合祀し、今の場所に移転しました。

村岡に陣屋をおいた山名家は黒野神社をととても大切にしており、建物や階段の整備にかかる費用を寄付するなど、深くかかわっていました。1765年には七代目義徳と家来、町民の寄付によって本殿が再建されました。再建された本殿は大きく、構造や彫刻がとてもよくできていて美しい建物で兵庫県指定重要文化財に指定されています。

そのほかにも、国指定重要文化財の絹本著色釈迦十六善神像(1300年代)など多くの文化財が守り継がれています。



黒野神社本殿



絹本著色釈迦十六善神像

交流の道 さんいんどう 山陰道

山陰道とは、京都市を出発し兵庫県、鳥取県、島根県石見地方にいたる昔からの古い道です。703年（大宝3年）の『続日本紀』に山陰道の記載があり、これがもっとも古い山陰道の名前を確認できるものです。

香美町では養父市関宮町から村岡区兎塚に入り、ほぼ現在の9号線に沿って北上し、村岡、射添を經由し新温泉町へと通じています。

昔から多くの人やモノが行き交った山陰道は、この地域の歴史文化を特徴づける要素であり、山陰道沿いの古墳や、今でも昔の面影を残す町並みは、この地域の魅力のひとつです。

○ ふんどう こふん 文堂古墳（寺河内）

寺河内にある文堂古墳は、善性寺ぜんしやうじの北側の山すそにあります。この古墳は今から1400年ころ前に亡くなった、この地域の有力者のお墓です。

中には2mを超える大きさの石をつかった、石室せきしつと呼ばれる石の部屋があり、なかに遺体いたいが収められていました。この古墳には多くの副葬品がいっしょに収められており、中にはとても珍しい刀や馬に乗るための道具などが見つかっています。（兵庫県指定史跡）



文堂古墳石室



文堂古墳出土品

○ さんのたにこふん 三之谷古墳1号墳（高井）

三之谷古墳は文堂古墳の対岸、標高305メートルにある横穴式石室をもつ古墳です。墳丘の大きさは直径14メートル、高さ3メートルの円墳えんふんです。石室の奥に向かって左側の石に、たくさんの細い溝が刻まれています。これが線刻せんこくと呼ばれているものです。（兵庫県指定史跡）



三之谷1号墳



三之谷1号墳線刻画せんこくが

○ かんのんどう 観音堂（大糠）

観音堂は大糠の北、大糠神社りんせつに隣接しています。堂内には大日如来像が安置あんちされています。地域の信仰の対象しんこうとなり、正月にお当わたしと呼ばれるお宮の世話役の交代式が行われます。

堂内には日本中を歩いて回った宗教者たちが書いた落書きが遺されています。もっとも古いものは1706年（宝永3年）の大阪の人が書いたものです。東北や九州の地名も書かれており、お堂の前の山陰道を多くの人々が行き交った様子を知ることができます。



大糠神社観音堂



大糠神社観音堂の中の落書き

私たちの暮らし

～村岡の年中行事～

わたしたちのふるさと村岡にはたくさんの伝統行事があります。それらは昔の人がいろいろな思いを込めながら行ってきたものです。行事に参加してその思いに触れてみましょう。

とう お当の餅つき（大糠）

昔、大糠に源七という子どもがいました。母親が病気になり、源七は母親の病気が治るよう毎日観音堂にお参りしましたが、なかなかよくなりません。でもあきらめずに毎朝欠かさずお参りを続け、3年目にやっと母親が治りました。

村の人は母親の病気が治ったことと源七の親孝行に感激して、源七の家にもち米を持ち寄り6升の餅をついたことが始まりだといわれています。

毎年元旦に行われる行事で、棒状の杵をもった6人のつき手が6升の餅を伊勢音頭に合せてつきます。

ついた餅は直径40センチほどの丸い形に整えられ、観音堂で行われるお当わたしの行事で新しい年の当番に渡され、切り分けられて各戸に配られます。



お当の餅つき

むらおかはん 村岡藩子ども大名行列

交代寄合だった山名氏は、三代目矩豊以降は江戸と村岡を行き来していました。その時の様子を再現したのが村岡藩山名子ども大名行列です。毎年、8月第1土曜に行われる村岡ふる里まつりで行われます。



村岡藩子ども大名行列

月	日	行事
1	1	新年祝賀会(萩山、大糠、板仕野、寺河内)、お当の餅つき(大糠)、黒野神社歳旦祭(村岡)、善性寺新年挨拶・お千度(寺河内)
	5	お日待ち(新町)
	第1日曜	お日待ち(鹿田、萩山)
	6	どんど(高井、寺河内、耀山、市原、神坂、板仕野、萩山)、お日待ち(西本町)
	7	どんど(大糠)、お日待ち(中西)
	8	お日待ち(川上)
	9、10	西宮神社えびす祭(村岡)
	10日前後	氏神講(寺河内)
	11	どんど(新町、鹿田)、お日待ち(本町)
	12	お日待ち(東上)
	13	お日待ち(野々上)
	14	お日待ち(殿町)
	15	どんど(村岡)、お日待ち(東中)
	16	お日待ち(大糠)
	18	観音行事(板仕野)
	第2日曜	とんど(東上、光陽)、新年会(耀山)
	最終土曜	産土講(東中)
	2	4
未		どう迎え(高井)
3	彼岸	数珠引き(板仕野)、数珠引き(萩山)
	初旬	どう迎え(殿町)
	中旬	伊勢講代参、どう迎え(寺河内)
	28	どう迎え(川上)
4	8	山神社春祭(村岡)
5	4	瀬川稲荷祭礼(板仕野)
	5	端午の節句(鹿田)
	28	念仏の口開け(板仕野)、地蔵堂念仏の口開け(寺河内)
6	第4日曜	辻の堂の念仏(高井)
	6月中	敬老会(萩山、板仕野)
7	7	七夕まつり(鹿田)、八坂神社夏祭(用野)
	8	大黒社夏祭(西本町)、稲荷神社夏祭(高井)

月	日	行事
7	16	稲荷神社夏祭(大糠)
	20	秋葉神社夏祭(市原)
	23	地藏祭(寺河内)、地藏盆(大糠)
	28	荒霊神社夏祭(川上)
	23日直前の日曜	地藏祭(萩山)
	最終日曜	御滝神社祭(水上)
8	1	稲荷神社祭(殿町)
	第1土曜	村岡ふる里まつり
	第1日曜	夏祭(光陽区)
	10	観音堂参り(鹿田) 十日参り(板仕野、神坂)
	13	盆踊り(板仕野)
	14	盆踊り(村岡、萩山)
9	23	盆踊り(中西)、地藏祭(新町、鹿田) 地藏堂念仏の供養おさめ(寺河内)
	15	八幡神社秋祭(萩山)
	19	黒野神社御縁日祭(村岡)
	22	黒野神社秋祭宵宮(村岡)
	23	黒野神社秋祭(村岡)
10	28	二柱神社秋祭(鹿田)、お千度(高井)
	1	郡主神社秋祭(萩山、板仕野)
	3	寺河内神社秋祭(寺河内)
	6	大糠神社秋祭(大糠)
	7	八坂神社秋祭(用野)
	9	等余神社秋祭(市原)
	11	秋祭宵宮(高井)、八坂神社秋祭(耀山)
	12	高井神社秋祭(高井)
	18	福西神社秋祭(村岡)
	11	初旬
8		山神社秋祭(村岡)
23		お千度(寺河内)
12	31	神社の正月飾り(寺河内、板仕野、萩山)

学校名

学年

年 名前

ようの
用野

しかだ
鹿田

むらおが
村岡

あいだ
相田

かんざか
神坂

はぎやま
秋山

いたしの
板仕野

2022年3月発行

編集：村岡ふるさとガイド編集委員会

発行：香美町の歴史文化を未来へつなく協議会、香美町教育委員会



文化庁 令和3年度地域文化財総合活用推進事業